



四峡小だより

学校教育目標「元気な子」「やさしい子」「考える子」

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



創立100周年
令和7年度 12月号
荒川区立第四峡田小学校
校長 宮原典子



創立百周年記念式典・祝賀会を挙行

校長 宮原 典子

11月15日（土）に、晴天のもと、百周年記念式典及び、祝賀会を晴れやかに盛大に挙行することができました。参加された方々から、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。これもひとえに実行委員会、地域、関わっていただきました全ての関係の皆様の御支援のたまものであり、深く感謝申し上げます。

児童は代表で5、6年生のみ参加でしたが、本校高学年の成長した素晴らしい姿を見ていただけたと思います。また、毎日、この日を迎えるために、様々な準備や清掃、児童への指導などに全力を注いでくれた本校教職員を誇りに思います。



式典では、6年児童が日頃の総合の授業から自分事として捉えている町屋や学校のことをもとに、「喜びの言葉」を考え、自分の思いをこめて発表しました。また、二部合唱「ふるさと」（小山薰堂作詞・youth case作曲）は、練習中に児童の悩みのつぶやきも聞こえていたので、音楽専科と学年担任との協働、そして児童の心からの取り組みによって、よくぞここまで、感動を呼ぶ歌声へ仕上げたものだ、と感極まりました。

式典後の校庭でのアトラクション、5、6年児童による「よんはけソーラン～百花斎放」は、一人残らず全員が、全身全力で踊りました。拍手喝采をいただき、最高のパフォーマンスでした。

「よんはけソーラン」の法被の歴史も心に留め、気迫ある踊りでした。様々乗り越え経験を糧に逞しく成長する本校自慢の高学年です。

祝賀会では、「百周年記念オープニングムービー」を乙川PTA会長兼実行委員長が、挨拶の中で紹介しました。全校児童が本校の創立百周年を祝う気持ちで活動してきた笑顔いっぱいの場面や、本校PTA活動や父親ネットワーク、地域の特色ある元気な活動を見せていただきました。素晴らしい記念動画を寄贈していただきました。さらに、本校保護者のプロ奏者、和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」様が登場し、心の底に響くお祝いの演奏で、祝賀会を盛り上げてくださいました。



式典・祝賀会では、多くの関係の皆様からお祝いの言葉をいただき、誠に佳き日となりました。百周年記念誌の表紙の波の模様（「よんはけソーラン」の法被の波の模様です）のように、波ほとばしる勢いで元気に明るく活気あふれる町屋の町と本校がこれからも百年続きますように、また、本校に関わる児童や全ての皆様が、本校を「心のふるさと」として繋がり、未来へ希望をもち続けられますように、引き続き、御支援と御協力をよろしくお願ひいたします。

【9月学校だより周年事業報告、のその後の報告】

- ・児童へ「百周年記念トートバッグ」(PTA寄贈)
- ・児童へ「百周年記念えんぴつ4本セット」(学校協力者 坂昇様寄贈)
- ・「よんかめ金太郎飴」「よんかめおかき」(PTA寄贈)
- ・「リサイクル一輪挿し」(手作り・工作クラブ児童制作)
- ・児童へ「百周年特製チロルチョコ」(PTA寄贈)
- ・来賓様へ「パウンドケーキ」(PTA寄贈)
- ・「体育館舞台幕」新調(荒川区教育委員会より)

～お知らせとお願ひ～

- ・荒川区教育委員会褒賞への推薦について、スクリレで配信しています。該当事項がありましたら、12月3日（水）までに、担任までお申し出ください。（詳細はスクリレで御確認ください。）
- ・令和7年度の学校評価アンケートについて、スクリレで配信しております。学校の教育活動の改善と更なる発展のため、御協力いただきますようお願いいたします。回答の締め切りは12月8日（月）までとなります。
- ・12月4日（木）に区学力調査・意識調査があります。意識調査はタブレットPCを用いてオンラインでの回答となります。前日に十分充電していただき、当日は忘れずに持参するようお声掛けをお願いいたします。
- ・最近、放課後の過ごし方で、金銭をめぐるトラブルが目立っています。学校のきまりでは、「子供だけでお金を持って遊びに行くこと」は推奨しておりません。各御家庭でお金の使い方について話し合っていただき、子供たちが安全に放課後を過ごせるよう御協力をお願いいたします。

～学習活動の様子～

◎伝統を受け継ぐ百周年記念式典 ～新たな一步へ～

6年

11月15日（土）に、創立百周年記念式典がありました。

6年生は、式典に参列し、喜びの言葉の中で、学校の歴史や受け継がれる伝統について呼びかけ、思いを伝えました。これまでの感謝の気持ちと、これから百年に思いを馳せ、区民の歌と「ふるさと」を披露しました。

式典後のアトラクションでは、5年生と一緒にソーラン節を披露しました。運動会の時よりさらにキレの増した踊りを披露することができました。

式典への練習を通して、伝統を受け継ぐとはどういうことか、改めて考える機会となりました。記念すべき行事を乗り越えて、子供たちはまた一つ大きな成長を遂げたと思います。

卒業まで残りわずかですが、この経験を糧に、今後も下級生のお手本となる姿を示していくことを期待しています。

◎よんはけ教室（特別支援教室）について

よんはけ教室

よんはけ教室は、安心して楽しく学校生活を過ごせるように、また、自信をもって意欲的に学習や活動に取り組めるように、一人一人に合った力をつけていく教室です。

例えば、勝ち負けのある活動を通して「気持ちをコントロールする力」や「友達と仲良くする力」を身に付けたり、ロールプレイングや発表、協力が必要な活動を通して「対人関係の問題解決法を考える力」や「自分の思いを適切に伝える力」「他者の気持ちを考える力」などを育んだりしています。

よんはけ教室に行くときには、クラスの友達と「いってきます」、「いってらっしゃい」「がんばってね」とお互い声をかけ合う姿が見られます。

よんはけ教室の質問や入室に関するお問い合わせは、学級担任または特別支援教育コーディネーター（中里）までお願いします。

◎はじめての展覧会

1年

初めての展覧会に向けて、子供たちは思い思いの作品をつくりました。

平面作品「まって～」は、夏のうちに自分の手形や足形をとっておき、それを生かした動きのある作品に仕上りました。おにぎりを追いかけているのは、国語で学習した「おむすびころりん」からアイディアをもらいました。

立体作品は、「百周年おめでとうのケーキ」です。記念すべき百周年の節目に入学した1年生がお祝いの気持ちを込めて個性豊かなケーキをつくりました。

学校全体が、素敵な作品で飾られた空間を楽しく鑑賞することもできました。

